

令和 2 年 6 月 3 日現在

機関番号：37114

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05792

研究課題名(和文) がん幹細胞化に関するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発

研究課題名(英文) Development of Innovative Treatment Targeting the Sphere Formation Mechanism Involving Cancer Stem Cells

研究代表者

前原 喜彦 (Maehara, Yoshihiko)

福岡歯科大学・口腔歯学部・客員教授

研究者番号：80165662

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 144,000,000円

研究成果の概要(和文)：がんの難治性メカニズムとして『Sphere形成』に着目し、“Sphere Biology”研究を推進し、その発生機序の解明が囑望されていた消化器がん/卵巣がんの最も進行した病態かつ極めて予後不良である腹膜播種の全容を解明するに至った(Kasagi Y, et al. Cancer Res, 2016)。  
また、固形腫瘍の薬剤耐性メカニズムとしてがん幹細胞株によるNicheとの相互作用に着目し、イリノテカンのストレスにより多様な役割分担を獲得して相互作用することで耐性を獲得するメカニズム“Self niche仮説”の、全容解明に向けたデータを集積するとともに、臨床検体での裏付けを行なった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

固形腫瘍に関するバイオロジーには不明な点が多いが故に進行例の治療は困難を極めるが、本研究によって特に腹膜播種はその全容が解明されたことで多くの治療ターゲット創出に繋がるとともに、腹腔内ではわずかな時間で腫瘍細胞がクラスター化し、ダイナミックな発現変化が起こることが明らかになったことは極めて重要な発見である。

研究成果の概要(英文)：We hypothesized that "Sphere formation" is associated with cancer malignancy. Therefore, we conducted a study on "Sphere Biology" to clarify the whole picture of peritoneal dissemination (the most advanced pathological condition and extremely poor prognosis) of gastrointestinal cancer and ovarian cancer (Kasagi Y, et al. Cancer Res, 2016). Next, we studied the interaction of cancer stem cell lines with Niche as a drug resistance mechanism of solid tumors. We have found that tumor cells acquire various roles by receiving the stress of irinotecan, and acquire drug resistance by interacting with them. This result will be an important step toward elucidation of the whole "Self niche hypothesis". In addition, we confirmed the above phenomenon in clinical samples. Furthermore, based on the role of miRNA expressed inside sphere, we obtained the data to understand the true state of malignant transformation from the viewpoint of metastasis and invasion ability.

研究分野：消化器外科、癌化学療法、癌の分子診断、癌分子標的治療

キーワード：癌 外科 細胞・組織 薬剤反応性 トランスレーショナルリサーチ

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

### がん幹細胞仮説とニッチ

がん細胞は部位に依存しない無制限増殖能、浸潤能、転移能をもつ細胞であるが、臨床で遭遇するがんを形成する全てのがん細胞がこれらの性質を持っているとは限らず、がん細胞の一部が自己複製能や多分化能という幹細胞と同様の性質を持ち、がん組織中で自己複製を繰り返しつつ、分化してがん細胞集団となっていると考えられている。この考えは「がん幹細胞仮説」とも呼ばれる。

このがん幹細胞は化学療法や放射線などの治療へ抵抗性を示すために残存しやすく、再発・転移の原因となる可能性がある。従って、がん幹細胞を標的とした治療法を確立することで再発・転移のリスクが少ない新しいがん治療が構築できるものと期待されている。

### Sphere形成とがん幹細胞

がん幹細胞の研究手法は再生医療の研究と相まって飛躍的に進んでいる。がん幹細胞研究の代表的な *in vitro* 評価系である“sphere formation assay”により、sphere 形成はがん幹細胞を濃縮すると考えられているがその詳細な分子生物学的機序については不明である。研究代表者らは、「Sphere Biology」という概念を立ち上げ、その独特な低栄養・低酸素環境に起因すると考えられる変化こそが腹膜播種などに見られる悪性化の一因であることを突き止めてきた。

## 2. 研究の目的

### (1). Sphere形成の分子生物学的機序の解明

- ・ 網羅的手法によるsphere形成に必須な分子の同定
- ・ 化合物ライブラリーによるSphere形成阻害物質の網羅的探索

### (2). Sphere形成による変化とがん幹細胞の関係の解明

- ・ 下流シグナル伝達についての解析
- ・ ジェネティック、エピジェネティックな変化についての解析
- ・ 遺伝子発現の変化についての解析
- ・ 上記 mRNA, miRNA の機能解析
- ・ 上記 mRNA, miRNA 恒常的発現細胞株の造腫瘍能についての検討
- ・ 皮下腫瘍モデルに対するデコイの投与

### (3) 候補標的分子の臨床検体における発現解析

### (4). Sphere形成を阻害する革新的治療法の開発

- ・ 遺伝子治療用センダイウイルス(SeV)ベクターの作成
- ・ Sphere 形成阻害剤による創薬

本研究における「Sphere Biology」という新しい概念の分子生物学的観点からの理解により、がん幹細胞研究分野や再生医療分野へ直接的、間接的に成果を還元できるという点で特徴がある。本研究において、Sphere 形成とがん幹細胞の関係やがん幹細胞のニッチを同定し、これらの分子生物学的特性を解析することによって、がん幹細胞を狙い撃ちすることができる治療標的分子を同定する事が可能となる。さらに、既存の治療法と組み合わせることで、がん治療のブレークスルーになりうる可能性がある。

治療標的分子が同定されることで、センダイウイルスを用いた遺伝子治療戦略を計画することが可能となる。我々がこれまで培ってきたセンダイウイルス組換え技術は、国際的に我々が知財を独占しており、知財確保の観点からも優位性を保ちつつ開発が可能である。また、低分子化合物により Sphere 形成の阻害、或いは Sphere の崩壊という新たな視点から新たな作用機序の創薬を行うことも期待される。

## 3. 研究の方法

### (1). Sphere形成の分子生物学的機序解明

sphere formation assay で知られているように、Sphere 形成能はがん幹細胞様の形質をもつ細胞であると考えられている。我々は既に、複数の分子が著しく sphere 形成を促進することを同定しており、それら分子の絞り込みを行っている。ただし、これら以外にも候補となる分子が多数存在している可能性は十分に考えられる。本検討では、これら分子の絞り込みを網羅的に行うため各種癌細胞株に対して sphere 形成後に経時的に網羅的解析を行い、sphere 形成に寄与している分子を同定する。

また(文科省「化合物ライブラリーを活用した創薬等最先端研究・教育基盤の整備事業」との共同研究)として、我々は 384-well plate を用いて、均一なサイズの sphere を作成する系の構築を終了した。この系を用いてハイスルーブットな実験を施行する事が可能であり、左図のように 384-well plate に均一サイズに作成された Sphere に対して、既知薬または機能既知化合物についての化合物ライブラリーを用いて投与する。これらの化合物の中で、Sphere 形成阻害または Sphere 崩壊作用をもつものを IN CELL アナライザーを用いてピックアップする。候補化合物について用量反応性の確認と、2D 培養系との比較を行う。

## (2). Sphere 形成による変化とがん幹細胞の関係の解明

下流シグナル伝達についての解析 1.にて同定された候補分子について、シグナル伝達経路と発現遺伝子変化、形態学的変化について解析を行う。

ジェネティック、エピジェネティックな変化についての解析: Sphere 形成後のジェネティック、エピジェネティックな変化についてはこれまで全く検討されていない。既に sphere についてのハイスループット検出系の構築は終了している。次世代 シークエンスによって遺伝子変異やメチレーションの変化についても解析を行う。

遺伝子発現の変化についての解析: これまで sphere 形成によって変化する mRNA, miRNA 発現プロファイルをマイクロアレイにて既に解析している。mRNA については最大で 10 倍程度変動する遺伝子を 5 つ同定する事ができた。また、miRNA についてはほとんどの miRNA が 2 倍以内の変化に収まっているが、その中で約 8 倍程度の発現変化が認められるような興味深い miRNA を 3 つ同定する事ができた。これらの中に Sphere 形成促進やがん幹細胞性に関与するものが存在する可能性がある。

## (3). 候補標的分子の臨床検体における発現解析

当科を含め、研究分担者の施設において主要臓器の悪性腫瘍について切除や生検を行っている。全ての臨床検体においてパラフィン包埋標本、凍結標本が系統的に保存されており、免疫組織学的解析、遺伝子解析が可能である。さらに、これらの症例は予後を含めた臨床病理学的因子の情報も紐付けされており、上記基礎検討において同定された分子と臨床病理学的因子の関係について解析が可能であるというアドバンテージがある。各分担研究者間(施設間)で得られた臨床検体について同様の実験を行い、比較検討するための定期ミーティングを開き討論、共同解析を行うことによって、標的分子の妥当性と臨床的意義についてバリデーションを行う。

## (4). Sphere 形成を阻害する革新的治療法の開発

新たな阻害剤となりうる低分子化合物が見つかった場合には、産学官で連携を行い、研究を推進する。(1) の化合物ライブラリーにおいて同定された候補化合物について、官能基の付加や光学異性体の合成などにより、類似薬の創成を行う事によって、新たな作用機序の抗悪性腫瘍薬を創成出来る可能性がある。

がん幹細胞の治療標的となる遺伝子に相補的な核酸(siRNA や miRNA デコイ)を発現するセンダイウイルスベクターを作成する。当科ではこれまで組換え型センダイウイルスベクターを用いた重症虚血肢に対する遺伝子治療の臨床試験を施行中であり、遺伝子組換えセンダイウイルスについてのノウハウを保有している。臨床応用を想定した場合に、安全性の見地からウイルスの二次感染が問題となる。SeV においては F 遺伝子を欠失させたもの(F-deleted rSeV)を用いることによって二次感染ができなくなるため、このベクターの 3'領域に組み込むことを想定している。作成したウイルスを *in vitro* において力価試験、遺伝子発現試験を行った後に、上記の皮下腫瘍マウスモデルに対して、同様にウイルス投与試験を行う。コントロールとしてデコイ遺伝子を搭載していない F-deleted rSeV を用いる。

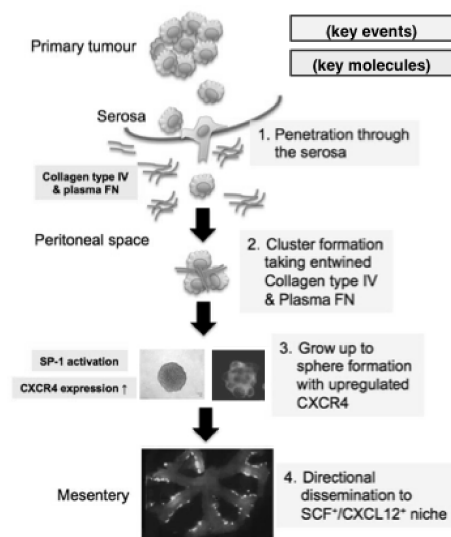
## 4. 研究成果

### (1). Sphere 形成の分子生物学的機序の解明

#### 初めて明かされた Sphere 形成に起因する腹膜播種の全貌

がんの難治性に関わるメカニズムとして『Sphere 形成』に着目し、“Sphere Biology”研究を推進することで、その発生機序の解明が囑望されていた消化器がん並びに卵巣がんの最も進行した病態かつ極めて予後不良である腹膜播種の全容を解明するに至った(Kasagi Y, et al. *Cancer Res*, 76:347-357, 2016)。

その全貌は図に示す通り驚くべきもので、腹腔内に播種された腫瘍細胞は腹腔内に存在する plasma fibronectin 及び Type IV collagen を用いて速やかに(6 時間程度以内に)凝集し、sphere を形成しつつそのプロセスで多様な腹腔内タンパクを利用し、さらにはがん細胞内のシグナル系が変化して転移に都合の良いがん微小環境を形成するというものであった。このようにして形成された腹膜播種結節は、その背景に sphere 形成とそれに起因する微小環境との相互作用が存在することで、各種化学療法剤に対する抵抗性が極めて高いため、現行の治療法は生命予後の改善に繋がっていないことが明らかとなった。



### (2). Sphere 形成による変化とがん幹細胞の関係の解明

#### がん幹細胞株による Niche との相互作用: 薬剤耐性メカニズム

免疫不全マウスを用いて *in vivo* で濃縮・クローニングされた大腸がん幹細胞株(Kobayashi S, et al. *Stem Cells*. 2012)を用い、抗がん剤の一つであるイリリテカンに耐性を獲得するメカニズムの解明を進めた。平面培養された大腸がん幹細胞株はイリリテカンに暴露されると速やかに Sphere 様のクラスター

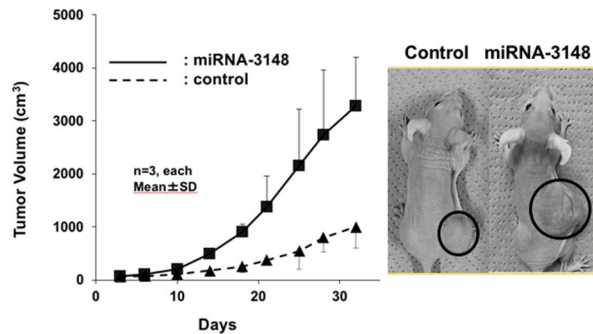
を自発的に形成し、高い耐性を獲得することが分かった。このクラスター中には SP/non-SP それぞれの細胞が存在する他、複数のタンパク発現を指標とした解析からヘテロな集団であることが明らかとなった。中でも CK20 や Type17 collagen は特徴的な発現様式を呈し、立体的構造の中に複雑な相互作用が存在していることが示唆される。解析対象としたがん幹細胞は single cell cloning によって得られた単一クローンでありながら、イリノテカンのストレスを受けることで多様な役割分担を獲得し、それらが相互作用することで耐性を獲得するメカニズム“Self niche 仮説”の、全容解明に向けた重要な足がかりを得た。

### (3). 候補標的分子の臨床検体における発現解析

#### Sphere 内部で発現する miRNA の役割: 悪性化メカニズム

直径が 200  $\mu\text{m}$  を超える Sphere 内部は低酸素状態に陥ることが知られていることから、HRE の下流に GFP を結合させたコンストラクトを HCT116 細胞に導入し、single cell cloning を行ったのち、Sphere を形成させ、内部(低酸素領域)を GFP で標識した状態で sorting を行った。即ち、Sphere の外郭を成す細胞と、中心部で種々のストレスに晒されている細胞とを分取した。それらを用いて発現アレイ解析を行ったところ、Sphere 内部でのみ特異的に発現する miR3148 を特定した。

そこで、miR3148 を強制発現する HCT116 細胞の作成を行った。驚くべきことにこの細胞は、マウス皮下に移植すると親株と比べて圧倒的に増殖速度が速いにも関わらず、*in vitro* で培養した際には親株と明確な差異(形態、増殖速度、sphere 形成様態、低 pH/血清飢餓/低酸素等ストレスへの耐性)が観察されないことが判明した。さらに、当該 miRNA が EMT 関連分子群に大きな影響を与えていることが判明しつつあり、転移・浸潤能の観点から悪性化の本態を捉えることが可能になることが期待される。



### (4). Sphere形成を阻害する革新的治療法の開発

#### Sphere をターゲットにした化合物スクリーニング技術の創出

そこで、Sphere をターゲットとした薬物スクリーニングのためのシステム構築を開始、従来技術と比較して以下の特徴を持つ系を確立した:

1. Scaffold タイプで成し得なかった均質性
  2. サイズ調整でがんの進行度を反映可能
  3. ハンギングドロップ法では不可能な試薬の途中添加が可能
  4. 非破壊的に sphere 全体の viability を検出可能
  5. 高精度 (CV 値 10%未満、Z-factor 0.8 以上)
- : Z-factor 0.5 以上が東大創薬機構のスクリーニング基準

尚、本技術は 2016 年 2 月 29 日付で特許出願を行った(特願 2016-37519: 定期的に配置された同一サイズのスフェロイド群及びその利用、PCT/JP2017/007029)。

#### Sphere 形成抑制/破壊が可能な化合物の取得

東大創薬機構より既知化合物ライブラリの提供を受け、sphere 形成阻害/破壊を指標としたテストスクリーニングを実施した結果、およそ 3000 化合物から MEK に対する阻害剤 PD0325901 など取得した。パクリタキセル(臨床で腹膜播種治療用に投薬され得る)をはじめとした種々の抗癌剤に高い抵抗性を示すマウス腹膜播種モデルに対して、PD0325901 は体重に影響を及ぼす事無く播種結節の大幅な縮小および貯留腹水量の減少を示し、顕著な生存期間の延長作用を示した。また、Hit 化合物の一つである Triptolide はミネソタ大学での検証から、腹水貯留を来す膀胱がんモデル、並びにヒト Xenograft モデルで著効することが明らかとなり、当該スクリーニングの有用性の証左ともなった。

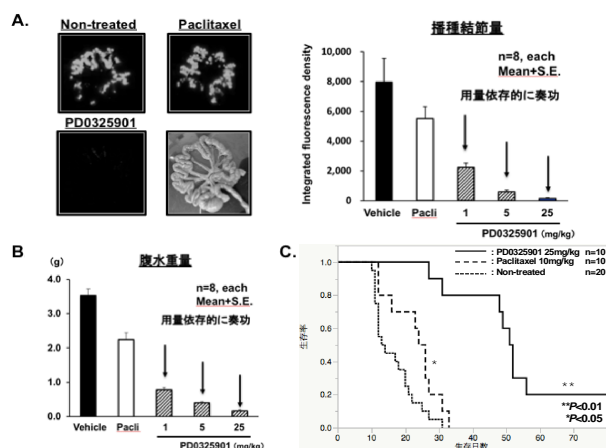


図:A. GFP は腫瘍を示す、PD0325901 は顕著に播種結節を抑制 B. PD0325901 は腹水貯留量を顕著に抑制 C. PD0325901 は優位に生存期間を延長

#### 臨床検体における評価で明らかになった治療抵抗性と small cluster formation

ネオアジュバント療法を実施し手術を施し大腸癌の 23 症例について病理標本を解析したところ、豊富な fibrosis の中に直径 100 $\mu\text{m}$  以下でおおよそ 20 個の腫瘍細胞で構成される細胞塊 (small cluster) が

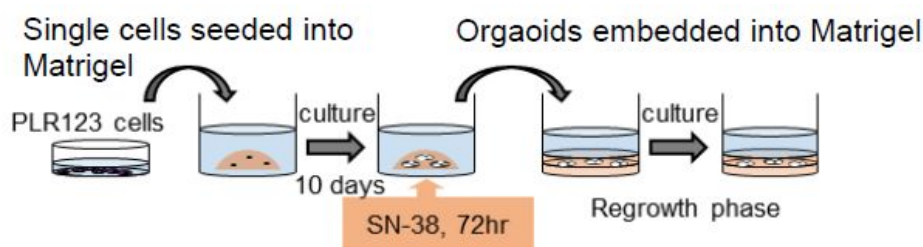


見いだされ、その一部が LGR5 強陽性であった。我々は、small cluster が薬剤耐性を獲得した細胞群と想定し、その存在と予後との関連を解析している。23 例中の病理学的に薬剤に反応した 14 症例で small cluster が存在した症例 9 例は 2 年以内に再発した。しかし 3 年以上再発がない 6 症例は、small cluster 周辺に免疫細胞が存在し免疫細胞の腫瘍内への浸潤を認めた症例、もしくは、small cluster が存在しない症例であった。LGR5 を高発現する small cluster を有する症例は 12 例中 4 例であり、そのうち 3 例が 2 年以内に再発した。これらの解析結果より、薬剤処置後に残存する small cluster は再発・予後に深く関与していることが想定されたので、xenograft モデルを用いてイリノテカン処置後の腫瘍組織を現在解析している。

#### 臨床検体における癌幹細胞の検討

大腸癌術前治療後の臨床検体の検討:

図: PLR123 を用いたオルガノイドモデル



まず、術前治療後に切除を行なった大腸癌の病理的な観察を行なった。その結果、術前化学療法が有効であった症例でかつ、通常の臨床評価のなかでは根治切除と評価された病理標本の中に、大腸癌の癌幹細胞 (CSC) マーカーの 1 つとされている LGR5 陽性の small cluster が存在することを発見した。それらの small cluster は上皮性を維持し、一部は CSC 様 phenotype を示し、薬剤耐性機構として ROS シグナリングが関与していることを示した。さらに、我々は、LGR5 陽性細胞を含み大腸癌の固有構造をよく再現する PDX 株細胞 (PLR123) を Scid マウスに移植し、薬剤投与後にマトリゲルにて再増殖をさせ、オルガノイドモデルとしてこの現象を再現した (論文準備中)。

胃癌術後治療検体の検討:

CD44 も CSC マーカーとして報告されている。その splicing variant である CD44v9 はシスチン輸送体を安定化させ酸化ストレス耐性、ROS 産生に働き、癌の増殖進展に関与すると考えられている。臨床検体を用いた検討において、胃癌 pStageII/III の術後補助化学療法施行例では CD44v9 発現が高いと有意に予後が不良であるにも関わらず、術後無治療例では発現と予後に相関は認めないという結果を得た。さらに、CD44v9 高発現胃癌細胞株である MKN45, NUGC4 を用いて siRNA 処理により CD44v9 発現を knockdown したところ、5-FU に対する感受性が上昇することを確認した。(論文準備中)。

#### 大腸癌発癌過程における腸内細菌叢の関与の検討

大部分の大腸癌は traditional pathway (*APC* 変異に起因する WNT シグナルの制御破綻) と serrated pathway (*BRAF* または *KRAS* 変異) により発生する。Traditional pathway における初期段階の Lgr5<sup>+</sup> の腸管幹細胞の WNT シグナルの制御機構の破綻は、traditional pathway で生じた大腸癌だけでなく、serrated pathway で生じた大腸癌においても、その cancer-initiating stem cells (CISCs) や sphere 形成の重要な分子機序と考えられる。近年、食事性の脂肪酸は腸管幹細胞の自己複製及び CISCs の誘導を助長することが示され、実際、高脂肪食と肥満は大腸癌を含む種々の癌の重大な危険因子であることが示唆されている。また、tauro- $\beta$ -muricholic acid (T- $\beta$ MCA) や deoxycholic acid (DCA) は、胆汁酸 (BA) の制御因子である Farnesoid X Receptor (FXR) の antagonist として働く結果、FXR シグナルが低下し、腸管幹細胞 Lgr5<sup>+</sup> 細胞の DNA ダメージと増殖を助長し、発癌と癌進展に寄与していることが報告されている (Ting fu et al. *Cell* 176;1098-1112, 2019)。

臨床検体を用いて、cancer-initiating stem cells (CISCs) や Sphere 形成を阻害する薬剤の標的候補として、腸内細菌叢と FXR シグナル制御因子を挙げ、病的肥満が惹起する腸内細菌叢変化と FXR シグナルを正に制御する胆汁酸代謝との相関を明らかにした。

その結果、個々の細菌による胆汁酸代謝への影響は一律ではなく、WNT シグナルの増強をきたす胆汁酸組成変化を誘導する特定の細菌群の存在が示唆される。従って、胆汁酸組成の改変を誘導するプロバイオティクスや FXR の agonist は CISCs や sphere 形成抑制の有望な治療薬候補であると考えられる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計88件（うち査読付論文 88件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Ikeda T, Aida M, Yoshida Y, Matsumoto S, Tanaka M, Nakayama J, Nagao Y, Nakata R, Akahoshi T, Okano S, Nomura M, Hashizume M, and Maehara Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Alteration in faecal bile acids, gut microbial composition and diversity after laparoscopic sleeve gastrectomy.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 British Journal of Surgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shu Sei, Iimori Makoto, Wakasa Takeshi, Ando Koji, Saeki Hiroshi, Oda Yoshinao, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 132
2. 論文標題 The balance of forces generated by kinesins controls spindle polarity and chromosomal heterogeneity in tetraploid cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Cell Science	6. 最初と最後の頁 jcs231530
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.231530	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Watanabe Sugiko, Iimori Makoto, Chan David Virya, Hara Eiji, Kitao Hiroyuki, Maehara Yoshihiko	4. 巻 8
2. 論文標題 MDC1 methylation mediated by lysine methyltransferases EHMT1 and EHMT2 regulates active ATM accumulation flanking DNA damage sites	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10888
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29239-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Fujimoto Yoshiaki, Nakanishi Ryota, Nukatsuka Mamoru, Matsuoka Kazuaki, Ando Koji, Wakasa Takeshi, Kitao Hiroyuki, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko, Mori Masaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Detection of trifluridine in tumors of patients with metastatic colorectal cancer treated with trifluridine/tipiracil	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Chemotherapy and Pharmacology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00280-020-04072-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maehara Yoshihiko, Soejima Yuji, Yoshizumi Tomoharu et al.	4. 巻 24
2. 論文標題 The evolution of surgical treatment for gastrointestinal cancers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1333 ~ 1349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-019-01499-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oki Eiji, Emi Yasunori, Yamanaka Takeharu, Uetake Hiroyuki, Muro Kei, Takahashi Takao, Nagasaka Takeshi, Hatano Etsuro, Ojima Hitoshi, Manaka Dai, Kusumoto Tetsuya, Katayose Yu, Fujiwara Toshiyoshi, Yoshida Kazuhiro, Unno Michiaki, Hyodo Ichinosuke, Tomita Naohiro, Sugihara Kenichi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 121
2. 論文標題 Randomised phase II trial of mFOLFOX6 plus bevacizumab versus mFOLFOX6 plus cetuximab as first-line treatment for colorectal liver metastasis (ATOM trial)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 British Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 222 ~ 229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41416-019-0518-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka Yuki, Imori Makoto, Niimi Shinichiro, Tsukihara Hiroshi, Wakasa Takeshi, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko, Kitao Hiroyuki	4. 巻 9
2. 論文標題 Cytotoxicity of trifluridine correlates with the thymidine kinase 1 expression level	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44399-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai Daisuke, Yoshizumi Tomoharu, Okano Shinji, Itoh Shinji, Ikegami Toru, Harada Noboru, Aishima Shinichi, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 240
2. 論文標題 IFN- Promotes Epithelial-Mesenchymal Transition and the Expression of PD-L1 in Pancreatic Cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Surgical Research	6. 最初と最後の頁 115 ~ 123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jss.2019.02.038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando Koji, Yokochi Tomoki, Mukai Akira, Wei Gao, Li Yuanyuan, Kramer Sonja, Ozaki Toshinori, Maehara Yoshihiko, Nakagawara Akira	4. 巻 58
2. 論文標題 Tumor suppressor KIF1B regulates mitochondrial apoptosis in collaboration with YME1L1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Carcinogenesis	6. 最初と最後の頁 1134 ~ 1144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mc.22997	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara Taichi, Takada Kazuki, Azuma Koichi, Takamori Shinkichi, Toyokawa Gouji, Haro Akira, Osoegawa Atsushi, Tagawa Tetsuzo, Kawahara Akihiko, Akiba Jun, Okamoto Isamu, Nakanishi Yoichi, Oda Yoshinao, Hoshino Tomoaki, Maehara Yoshihiko	4. 巻 26
2. 論文標題 A Clinicopathological and Prognostic Analysis of PD-L2 Expression in Surgically Resected Primary Lung Squamous Cell Carcinoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 1925 ~ 1933
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-019-07257-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takamori Shinkichi, Takada Kazuki, Azuma Koichi, Jogo Tomoko, Shimokawa Mototsugu, Toyokawa Gouji, Hirai Fumihiko, Tagawa Tetsuzo, Kawahara Akihiko, Akiba Jun, Okamoto Isamu, Nakanishi Yoichi, Oda Yoshinao, Hoshino Tomoaki, Maehara Yoshihiko	4. 巻 26
2. 論文標題 Prognostic Impact of Programmed Death-Ligand 2 Expression in Primary Lung Adenocarcinoma Patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 1916 ~ 1924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-019-07231-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takada Kazuki, Kohashi Kenichi, Shimokawa Mototsugu, Haro Akira, Osoegawa Atsushi, Tagawa Tetsuzo, Seto Takashi, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 128
2. 論文標題 Co-expression of IDO1 and PD-L1 in lung squamous cell carcinoma: Potential targets of novel combination therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Lung Cancer	6. 最初と最後の頁 26 ~ 32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lungcan.2018.12.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Korehisa Shotaro, Oki Eiji, Iimori Makoto, Nakaji Yu, Shimokawa Mototsugu, Saeki Hiroshi, Okano Shinji, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 142
2. 論文標題 Clinical significance of programmed cell death-ligand 1 expression and the immune microenvironment at the invasive front of colorectal cancers with high microsatellite instability	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 822 ~ 832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.31107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsura Masakazu, Shoji Fumihiro, Okamoto Tatsuuro, Shimamatsu Shinichiro, Hirai Fumihiko, Toyokawa Gouji, Morodomi Yosuke, Tagawa Tetsuzo, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 109
2. 論文標題 Correlation between CXCR4/CXCR7/CXCL12 chemokine axis expression and prognosis in lymph-node-positive lung cancer patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 154 ~ 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13422	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Tomohiro, Tokunaga Eriko, Hattori Satoshi, Watari Kosuke, Murakami Yuichi, Yamashita Nami, Oki Eiji, Itou Junji, Toi Masakazu, Maehara Yoshihiko, Kuwano Michihiko, Ono Mayumi	4. 巻 9
2. 論文標題 Y-box binding protein YBX1 and its correlated genes as biomarkers for poor outcomes in patients with breast cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 37216 ~ 37228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26469	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Daisuke, Saeki Hiroshi, Nakashima Yuichiro, Kudou Kensuke, Nakanishi Ryota, Kubo Nobuhide, Ando Koji, Oki Eiji, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 7
2. 論文標題 CD44v9 is associated with epithelial-mesenchymal transition and poor outcomes in esophageal squamous cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 6258 ~ 6268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.1874	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Kashiwada Tomomi, Arigami Takaaki, Makiyama Akitaka, Iwatsuki Masaaki, Narita Yukiya, Satake Hironaga, Matsuda Yoshiko, Sonoda Hideto, Shimokawa Mototsugu, Maehara Yoshihiko	4. 巻 105
2. 論文標題 Re-evaluation of HER2 status in patients with HER2-positive advanced or recurrent gastric cancer refractory to trastuzumab (KSCC1604)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 41 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejca.2018.09.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Korehisa Shotaro, Ikeda Tetsuo, Okano Shinji, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Oda Yoshinao, Hashizume Makoto, Maehara Yoshihiko	4. 巻 72
2. 論文標題 A novel histological examination with dynamic three-dimensional reconstruction from multiple immunohistochemically stained sections of a PD-L1-positive colon cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 697 ~ 703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.13400	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kozuma Yuka, Takada Kazuki, Toyokawa Gouji, Kohashi Kenichi, Shimokawa Mototsugu, Hirai Fumihiko, Tagawa Tetsuzo, Okamoto Tatsuro, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 101
2. 論文標題 Indoleamine 2,3-dioxygenase 1 and programmed cell death-ligand 1 co-expression correlates with aggressive features in lung adenocarcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 20 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejca.2018.06.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Edahiro Keitaro, Imori Makoto, Kobunai Takashi, Morikawa-Ichinose Tomomi, Miura Daisuke, Kataoka Yuki, Niimi Shinichiro, Wakasa Takeshi, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Kitao Hiroyuki, Maehara Yoshihiko	4. 巻 16
2. 論文標題 Thymidine Kinase 1 Loss Confers Trifluridine Resistance without Affecting 5-Fluorouracil Metabolism and Cytotoxicity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1483 ~ 1490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1541-7786.MCR-17-0686	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwai Toshiki, Harada Yui, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko, Yonemitsu Yoshikazu	4. 巻 9
2. 論文標題 Capecitabine reverses tumor escape from anti-VEGF through the eliminating CD11bhigh/Gr1high myeloid cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 17620 ~ 17630
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.24811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita Nami, Tokunaga Eriko, Imori Makoto, Inoue Yuka, Tanaka Kimihiro, Kitao Hiroyuki, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 18
2. 論文標題 Epithelial Paradox: Clinical Significance of Coexpression of E-cadherin and Vimentin With?Regard to Invasion and Metastasis of Breast?Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Breast Cancer	6. 最初と最後の頁 e1003 ~ e1009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clbc.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto T, Takada K, Sato S, Toyokawa G, Tagawa T, Shoji F, Nakanishi R, Oki E, Koike T, Nagahashi M, Ichikawa H, Shimada Y, Watanabe S, Kikuchi T, Akazawa K, Lyle S, Takabe K, Okuda S, Sugio K, Wakai T, Tsuchida M, Maehara Y.	4. 巻 25
2. 論文標題 Clinical and Genetic Implications of Mutation Burden in Squamous Cell Carcinoma of the Lung	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 1564 ~ 1571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-018-6401-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Yuka, Yamashita Nami, Kitao Hiroyuki, Tanaka Kimihiro, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Oda Yoshinao, Tokunaga Eriko, Maehara Yoshihiko	4. 巻 18
2. 論文標題 Clinical Significance of the Wild Type p53-Induced Phosphatase 1 Expression in Invasive Breast Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Breast Cancer	6. 最初と最後の頁 e643 ~ e650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clbc.2017.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oki Eiji, Okano Shinji, Saeki Hiroshi, Umemoto Yuichiro, Teraishi Koji, Nakaji Yu, Ando Koji, Zaitso Yoko, Yamashita Nami, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Ohgaki Kippe, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 93
2. 論文標題 Clinical Significance of the Wild Death 1 Ligand 1 and HER2 in Gastric Carcinoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology	6. 最初と最後の頁 387 ~ 394
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000479231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oki Eiji, Okano Shinji, Saeki Hiroshi, Umemoto Yuichiro, Teraishi Koji, Nakaji Yu, Ando Koji, Zaitso Yoko, Yamashita Nami, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Ohgaki Kippe, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 93
2. 論文標題 Protein Expression of Programmed Death 1 Ligand 1 and HER2 in Gastric Carcinoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology	6. 最初と最後の頁 387 ~ 394
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000479231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kasagi Y, Oki E, Ando K, Ito S, Iguchi T, Sugiyama M, Nakashima Y, Ohgaki K, Saeki H, Mimori K, Maehara Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 The Expression of CCAT2, a Novel Long Noncoding RNA Transcript, and rs6983267 Single-Nucleotide Polymorphism Genotypes in Colorectal Cancers.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000452143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Ryota, Kitao Hiroyuki, Kiniwa Mamoru, Morodomi Yosuke, Imori Makoto, Kurashige Junji, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Monitoring trifluridine incorporation in the peripheral blood mononuclear cells of colorectal cancer patients under trifluridine/tipiracil medication	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-17282-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yasuo, Iimori Makoto, Nakashima Yuichiro, Nakanishi Ryota, Ando Koji, Ohgaki Kippe, Kitao Hiroyuki, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Mitotic slippage and the subsequent cell fates after inhibition of Aurora B during tubulin-binding agent-induced mitotic arrest	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-17002-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Sho, Oki Eiji, Ando Koji, Iimori Makoto, Nakaji Yu, Nakashima Yuichiro, Saeki Hiroshi, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 6
2. 論文標題 High ubiquitin-specific protease 44 expression induces DNA aneuploidy and provides independent prognostic information in gastric cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 1453 ~ 1464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.1090	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakaji Yu, Oki Eiji, Nakanishi Ryota, Ando Koji, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Yamashita Nami, Saeki Hiroshi, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 143
2. 論文標題 Prognostic value of BRAF V600E mutation and microsatellite instability in Japanese patients with sporadic colorectal cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 151 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-016-2275-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tajiri Hirotada, Uruno Takehito, Shirai Takahiro et al.	4. 巻 19
2. 論文標題 Targeting Ras-Driven Cancer Cell Survival and Invasion through Selective Inhibition of DOCK1	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 969 ~ 980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.04.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Masakazu, Oki Eiji, Nakaji Yu, Tsutsumi Satoshi, Ono Naomi, Nakanishi Ryota, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Sonoda Hideto, Ohgaki Kippei, Yamashita Nami, Saeki Hiroshi, Okano Shinji, Kitao Hiroyuki, Morita Masaru, Oda Yoshinao, Maehara Yoshihiko	4. 巻 107
2. 論文標題 High expression of the Notch ligand Jagged-1 is associated with poor prognosis after surgery for colorectal cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1705 ~ 1716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oki Eiji, Kyushu Study Group of Clinical Cancer et al.	4. 巻 19
2. 論文標題 Surgical treatment of liver metastasis of gastric cancer: a retrospective multicenter cohort study (KSCC1302)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 968 ~ 976
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-015-0530-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oki E., Murata A., Yoshida K., Maeda K., Ikejiri K., Munemoto Y., Sasaki K., Matsuda C., Kotake M., Suenaga T., Matsuda H., Emi Y., Kakeji Y., Baba H., Hamada C., Saji S., Maehara Y.	4. 巻 27
2. 論文標題 A randomized phase III trial comparing S-1 versus UFT as adjuvant chemotherapy for stage II/III rectal cancer (JFMC35-C1: ACTS-RC)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Annals of Oncology	6. 最初と最後の頁 1266 ~ 1272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/annonc/mdw162	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kasagi Yuta, Harada Yui, Morodomi Yosuke, Iwai Toshiki, Saito Satoru, Yoshida Kumi, Oki Eiji, Saeki Hiroshi, Ohgaki Kippei, Sugiyama Masahiko, Onimaru Mitsuhiko, Maehara Yoshihiko, Yonemitsu Yoshikazu	4. 巻 76
2. 論文標題 Peritoneal Dissemination Requires an Sp1-Dependent CXCR4/CXCL12 Signaling Axis and Extracellular Matrix-Directed Spheroid Formation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 347-357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Yamanaka Takeharu, Oki Eiji, Yamazaki Kentaro et al.	4. 巻 34
2. 論文標題 12-Gene Recurrence Score Assay Stratifies the Recurrence Risk in Stage II/III Colon Cancer With Surgery Alone: The SUNRISE Study	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 2906 ~ 2913
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.2016.67.0414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Shinichi, Matsumoto Takuya, Matsubara Yutaka, Harada Yui, Kyuragi Ryoichi, Koga Jun ichiro, Egashira Kensuke, Nakashima Yutaka, Yonemitsu Yoshikazu, Maehara Yoshihiko	4. 巻 5
2. 論文標題 BubR1 Insufficiency Results in Decreased Macrophage Proliferation and Attenuated Atherogenesis in Apolipoprotein E Deficient Mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of the American Heart Association	6. 最初と最後の頁 e004081
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.116.004081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Shuhei, Okano Shinji, Morita Masaru, Saeki Hiroshi, Tsutsumi Satoshi, Tsukihara Hiroshi, Nakashima Yuichiro, Ando Koji, Imamura Yu, Ohgaki Kippei, Oki Eiji, Kitao Hiroyuki, Mimori Koshi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 23
2. 論文標題 Expression of PD-L1 and HLA Class I in Esophageal Squamous Cell Carcinoma: Prognostic Factors for Patient Outcome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 508 ~ 515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-016-5376-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iimori Makoto, Watanabe Sugiko, Kiyonari Shinichi, Matsuoka Kazuaki, Sakasai Ryo, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Kitao Hiroyuki, Maehara Yoshihiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Phosphorylation of EB2 by Aurora B and CDK1 ensures mitotic progression and genome stability	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 11117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms11117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki , Minagawa Ryosuke , Itoh Shinji , Kajiyama Kiyoshi , Harimoto Norifumi , Ikegami Toru, Yoshizumi Tomoharu, Shirabe Ken, Takenaka Kenji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 36(1)
2. 論文標題 Favorable outcomes of hepatectomy for ruptured hepatocellular carcinoma: retrospective analyses of primary R0-hepatectomized patients.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 379-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akahoshi Tomohiko, Yasuda Mitsuhiro, Momii Kenta, Kubota Kensuke, Shono Yuji, Kaku Noriyuki, Tokuda Kentaro, Nagata Takashi, Yoshizumi Tomoharu, Shirabe Ken, Hashizume Makoto, Maehara Yoshihiko	4. 巻 3
2. 論文標題 Sarcopenia is a predictive factor for prolonged intensive care unit stays in high-energy blunt trauma patients	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Acute Medicine & Surgery	6. 最初と最後の頁 326 ~ 331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ams2.195	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harimoto Norifumi, Yoshizumi Tomoharu, Shimokawa Masahiro, Sakata Kazuhito, Kimura Kouichi, Itoh Shinji, Ikegami Toru, Ikeda Tetsuo, Shirabe Ken, Maehara Yoshihiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Sarcopenia is a poor prognostic factor following hepatic resection in patients aged 70?years and older with hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 1247 ~ 1255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12674	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itoh Shinji, Shirabe Ken, Yoshizumi Tomoharu, Takeishi Kazuki, Harimoto Norifumi, Ikegami Toru, Kawanaka Hirofumi, Nishie Akihiro, Kamishima Takahide, Maehara Yoshihiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Skeletal muscle mass assessed by computed tomography correlates to muscle strength and physical performance at a liver-related hospital experience	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 292 ~ 297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12537	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itoh Shinji , Shirabe Ken, Kohnoe Shunji, Sadanaga Noriaki, Kajiyama Kiyoshi, Yamagata Motoyuki , Anai Hideaki , Harimoto Norifumi , Ikegami Toru , Yoshizumi Tomoharu, Maehara Yoshihiko	4. 巻 36(5)
2. 論文標題 Impact of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin for Disseminated Intravascular Coagulation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 2493-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itoh Shinji , Kohnoe Shunji , Shirabe Ken , Yoshida Daisuke , Kawanaka Hirofumi , Yoshizumi Tomoharu , Ikegami Toru, Yamashita Yo-Ichi, Kurihara Takeshi , Maehara Yoshihiko	4. 巻 36(8)
2. 論文標題 Validity of Hepatic or Pancreatic Resection for Elderly Patients Aged 85 Years or Older at a Single Community Hospital in Japan.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 4289-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto Tatsuro , Kitahara Hirokazu , Shimamatsu Shinichiro , Katsura Masakazu , Takada Kazuki , Fujishita Takatoshi , Suzuki Yuzo , Morodomi Yosuke, Tagawa Tetsuzo, Maehara Yoshihiko	4. 巻 36(6)
2. 論文標題 Prognostic Impact of EGFR Driver Mutations on Postoperative Disease Recurrence in Lung Adenocarcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 3057-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoji Fumihiko, Morodomi Yosuke, Akamine Takaki, Takamori Shinkichi, Katsura Masakazu, Takada Kazuki, Suzuki Yuzo, Fujishita Takatoshi, Okamoto Tatsuro, Maehara Yoshihiko	4. 巻 98
2. 論文標題 Predictive impact for postoperative recurrence using the preoperative prognostic nutritional index in pathological stage I non-small cell lung cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Lung Cancer	6. 最初と最後の頁 15 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lungcan.2016.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoji Fumihiro, Takamori Shinkichi, Akamine Takaki, Toyokawa Gouji, Morodomi Yosuke, Okamoto Tatsuro, Maehara Yoshihiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinical Evaluation and Outcomes of Digital Chest Drainage after Lung Resection	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	6. 最初と最後の頁 354 ~ 358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5761/atcs.oa.16-00179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takuya, Matsubara Yutaka, Aoyagi Yukihiko, Matsuda Daisuke, Okadome Jun, Morisaki Koichi, Inoue Kentarou, Tanaka Shinichi, Ohkusa Tomoko, Maehara Yoshihiko	4. 巻 24
2. 論文標題 Radial force measurement of endovascular stents: Influence of stent design and diameter	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Vascular	6. 最初と最後の頁 171 ~ 176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1708538115590040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takuya, Tanaka Michiko, Yoshiya Keiji, Yoshiga Ryosuke, Matsubara Yutaka, Horiuchi-Yoshida Kumi, Yonemitsu Yoshikazu, Maehara Yoshihiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Improved quality of life in patients with no-option critical limb ischemia undergoing gene therapy with DVC1-0101	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 30035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep30035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizumi Tomoharu, Takada Yasutsugu, Shirabe Ken et al.	4. 巻 23
2. 論文標題 Impact of human T-cell leukemia virus type 1 on living donor liver transplantation: a multi-center study in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	6. 最初と最後の頁 333 ~ 341
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jhbp.345	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizumi Tomoharu , Harimoto Norifumi , Itoh Shinji , Okabe Hirohisa , Kimura Koichi , Uchiyama Hideaki, Ikegami Toru, Ikeda Tetsuo , Maehara Yoshihiko	4. 巻 36(1)
2. 論文標題 Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma within Milan Criteria in the Present Era.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 439-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki, Shirabe Ken, Yoshizumi Tomoharu, Ikegami Toru, Harimoto Norifumi, Itoh Shinji, Kimura Koichi, Okabe Hirohisa, Maehara Yoshihiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Living donor liver transplantation for intrahepatic arteriovenous fistula with hepatic artery reconstruction using the right gastroepiploic artery	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Liver Transplantation	6. 最初と最後の頁 552 ~ 556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lt.24377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki, Shirabe Ken, Kimura Koichi, Yoshizumi Tomoharu, Ikegami Toru, Harimoto Norifumi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Outcomes of adult-to-adult living donor liver transplantation in 321 recipients	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Liver Transplantation	6. 最初と最後の頁 305 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lt.24378	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki, Yoshizumi Tomoharu, Ikegami Toru, Harimoto Norifumi, Itoh Shinji, Okabe Hirohisa, Kimura Koichi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 30
2. 論文標題 The use of left grafts with a replaced or accessory left hepatic artery in adult-to-adult living donor liver transplantation: analyses of donor and recipient outcomes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Transplantation	6. 最初と最後の頁 1021 ~ 1027
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ctr.12783	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami Toru ,Yoshizumi Tomoharu ,Soejima Yuji , Uchiyama Hideaki, Shirabe Ken, Maehara Yoshihiko.	4. 巻 5(2)
2. 論文標題 Feasible usage of ABO incompatible grafts in living donor liver transplantation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 HepatoBiliary Surgery and Nutrition	6. 最初と最後の頁 91-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3978/j.issn.2304-3881.2015.06.02	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami Toru, Yoshizumi Tomoharu, Sakata Kazuhito, Uchiyama Hideaki, Harimoto Norifumi, Harada Noboru, Itoh Shinji, Nagatsu Akihisa, Soejima Yuji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Left lobe living donor liver transplantation in adults: What is the safety limit?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Liver Transplantation	6. 最初と最後の頁 1666 ~ 1675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lt.24611	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami Toru, Harimoto Norifumi, Shimokawa Masahiro, Yoshizumi Tomoharu, Uchiyama Hideaki, Itoh Shinji, Okabe Norihisa, Sakata Kazuhito, Nagatsu Akihisa, Soejima Yuji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 30
2. 論文標題 The learning curves in living donor hemiliver graft procurement using small upper midline incision	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Transplantation	6. 最初と最後の頁 1532 ~ 1537
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ctr.12850	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harimoto Norifumi , Yoshizumi Tomoharu , Shimagaki Tomonari , Nagatsu Akihisa , Motomura Takashi , Harada Noboru , Okabe Hirohisa , Itoh Shinji , Ikegami Toru , Uchiyama Hideaki , Soejima Yuji , Maehara Yoshihiko.	4. 巻 36(10)
2. 論文標題 Inflammation-based Prognostic Score in Patients with Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 5537-5542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Itoh Shinji ,Yoshizumi Tomoharu ,Kimura Koichi , Okabe Hirohisa, Harimoto Norifumi,Ikegami Toru ,Uchiyama Hideaki , Shirabe Ken, Nishie Akihiro, Maeharao Yoshihiko.	4. 巻 36(6)
2. 論文標題 Effect of Sarcopenic Obesity on Outcomes of Living-Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 3029-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maehara Yoshihiko, Fernandez-Checa Jose C.	4. 巻 148
2. 論文標題 Augmenter of Liver Regeneration Links Mitochondrial Function to Steatohepatitis and Hepatocellular Carcinoma	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 285 ~ 288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.gastro.2014.12.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Morodomi Y, Okamoto T, Kohno M, Katsura M, Takada K, Suzuki Y, Fujishita T, Kitahara H, Shimamatsu S, Yoshida T, Tagawa T, Okano S, Maehara Y.	4. 巻 35(3)
2. 論文標題 Associations between driver gene mutations and cytotoxic chemosensitivity in patients with non-small cell lung cancer.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 1791-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morodomi Yosuke, Okamoto Tatsuro, Takenoyama Mitsuhiro, Takada Kazuki, Katsura Masakazu, Suzuki Yuzo, Fujishita Takatoshi, Kitahara Hirokazu, Shimamatsu Shinichiro, Kohno Mikihiro, Tagawa Tetsuzo, Okano Shinji, Taguchi Kenichi, Ichinose Yukito, Maehara Yoshihiko	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinical Significance of Detecting Somatic Gene Mutations in Surgically Resected Adenosquamous Cell Carcinoma of the Lung in Japanese Patients	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 2593 ~ 2598
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-014-4218-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shirabe K, Sugimachi K, Harada N, Kayashima H, Maeda T, Tsujita E, Minagawa R, Kajiyama K, Yoshiya S, Maehara Y.	4. 巻 35(12)
2. 論文標題 Favorable Prognosis in Patients with Sustained Virological Response to Antiviral Therapy, Including Interferon, for Chronic Hepatitis C Before Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinoma.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 6963-9.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okii Eiji, Ando Koji, Kasagi Yuta, Zaitso Yoko, Sugiyama Masahiko, Nakashima Yuichiro, Sonoda Hideto, Ohgaki Kippei, Saeki Hiroshi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 20
2. 論文標題 Recent advances in multidisciplinary approach for rectal cancer	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 641 ~ 649
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-015-0858-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okii Eiji, Emi Yasunori, Kojima Hiroshi, Higashijima Jun, Kato Takeshi, Miyake Yasuhiro, Kon Masanori, Ogata Yutaka, Takahashi Kenichi, Ishida Hideyuki, Saeki Hiroshi, Sakaguchi Yoshihisa, Yamanaka Takeharu, Kono Toru, Tomita Naohiro, Baba Hideo, Shirabe Ken, Kakeji Yoshihiro, Maehara Yoshihiko	4. 巻 20
2. 論文標題 Preventive effect of Goshajinkigan on peripheral neurotoxicity of FOLFOX therapy (GENIUS trial): a placebo-controlled, double-blind, randomized phase III study	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 767 ~ 775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-015-0784-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okii Eiji, Ando Koji, Saeki Hiroshi, Nakashima Yuichiro, Kimura Yasue, Hiyoshi Yukiharu, Imamura Yu, Ohgaki Kippei, Ito Shuhei, Morita Masaru, Ikeda Tetsuo, Maehara Yoshihiko	4. 巻 100
2. 論文標題 The Use of a Circular Side Stapling Technique in Laparoscopic Low Anterior Resection for Rectal Cancer: Experience of 30 Serial Cases	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 International Surgery	6. 最初と最後の頁 979 ~ 983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.9738/INTSURG-D-14-00202.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saeki Hiroshi, Watanabe Masayuki, Mine Shinji, Shigaki Hironobu, Oya Shuichiro, Ishiyama Akiyoshi, Tsuchida Tomohiro, Fujisaki Junko, Baba Hideo, Maehara Yoshihiko, Sano Takeshi	4. 巻 50
2. 論文標題 Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non-curative endoscopic resection	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 406 ~ 413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-014-0983-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saeki Hiroshi, Nakashima Yuichiro, Zaitso Yoko, Tsuda Yasuo, Kasagi Yuta, Ando Koji, Imamura Yu, Ohgaki Kippei, Ito Shuhei, Kimura Yasue, Egashira Akinori, Oki Eiji, Morita Masaru, Maehara Yoshihiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Current status of and perspectives regarding neoadjuvant chemoradiotherapy for locally advanced esophageal squamous cell carcinoma	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Surgery Today	6. 最初と最後の頁 261 ~ 267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00595-015-1144-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto Tatsuhiro, Kitahara Hirokazu, Shimamatsu Shinichiro, Morodomi Yosuke, Tagawa Tetsuzo, Maehara Yoshihiko	4. 巻 21
2. 論文標題 Applicability of Pulmonary Lobectomy in Treating Metastatic Lung Tumors	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	6. 最初と最後の頁 189 ~ 193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5761/atcs.oa.14-00183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki, Morita Kazutoyo, Itoh Shinji, Takenaka Kenji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 25
2. 論文標題 BiClamp-Fracture Method in Pure Laparoscopic Hepatectomy	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques	6. 最初と最後の頁 e113 ~ e116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/SLE.0000000000000172	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Hideaki, Morita Kazutoyo, Itoh Shinji, Harimoto Norifumi, Ikegami Toru, Yoshizumi Tomoharu, Shirabe Ken, Takenaka Kenji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 221
2. 論文標題 Pancreatic Transection Using Tape Sling and Ultrasonic Aspirator Dissection Technique in Pancreaticoduodenectomy and Distal Pancreatectomy	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of the American College of Surgeons	6. 最初と最後の頁 e91 ~ e95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamcollsurg.2015.08.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizumi T., Itoh S., Imai D., Ikegami T., Ninomiya M., Iguchi T., Harimoto N., Takeishi K., Kimura Y., Uchiyama H., Soejima Y., Ikeda T., Kawanaka H., Shirabe K., Maehara Y.	4. 巻 47
2. 論文標題 Impact of Platelets and Serotonin on Liver Regeneration After Living Donor Hepatectomy	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 683 ~ 685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2014.11.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami T., Yoshizumi T., Soejima Y., Harimoto N., Itoh S., Takeishi K., Uchiyama H., Kawanaka H., Yamashita Y.-I., Tsujita E., Harada N., Oki E., Saeki H., Kimura Y., Shirabe K., Maehara Y.	4. 巻 47
2. 論文標題 Triple Therapy Using Direct-Acting Agents for Recurrent Hepatitis C After Liver Transplantation: A Single-Center Experience	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 730 ~ 732
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2014.10.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami Toru, Yoshizumi Tomoharu, Yoshida Yoshihiro, Kurihara Takeshi, Harimoto Norifumi, Itoh Shinji, Shimokawa Masahiro, Fukuhara Takasuke, Shirabe Ken, Maehara Yoshihiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Telaprevir versus simeprevir for the treatment of recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 E136 ~ E145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12546	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda T, Akahoshi T, Tomikawa M, Souzaki R, Nomura M, Sonoda N, Nakayama R, Morita C, Yamaguchi S, Hashimoto K, Maehara Y, Hashizume M.	4. 巻 106(2)
2. 論文標題 Clinical significance of the laparoscopic bariatric surgeries for morbid obesity: initial 30 cases at a single institution in Japan.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Fukuoka Igaku Zasshi	6. 最初と最後の頁 33-40.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda Tetsuo, Kumashiro Ryuichi, Oki Eiji, Taketani Kenji, Ando Koji, Aishima Shinichi, Akahoshi Tomohiko, Morita Masaru, Maehara Yoshihiko	4. 巻 194
2. 論文標題 Evaluation of techniques to prevent colorectal anastomotic leakage	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Surgical Research	6. 最初と最後の頁 450 ~ 457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jss.2014.11.045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda Tetsuo, Kumashiro Ryuichi, Taketani Kenji, Ando Koji, Kimura Yasue, Saeki Hiroshi, Oki Eiji, Morita Masaru, Akahoshi Tomohiko, Hashizume Makoto, Maehara Yoshihiko	4. 巻 193
2. 論文標題 Endoscopic evaluation of clinical colorectal anastomotic leakage	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Surgical Research	6. 最初と最後の頁 126 ~ 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jss.2014.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takuya, Tanaka Shinichi, Okadome Jun, Kyuragi Ryoichi, Fukunaga Ryota, Kawakubo Eisuke, Itoh Hiroyuki, Okazaki Jin, Shirabe Ken, Fukuda Atsushi, Maehara Yoshihiko	4. 巻 45
2. 論文標題 Midterm outcomes of endovascular repair for abdominal aortic aneurysms with the on-label use compared with the off-label use of an endoprosthesis	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Surgery Today	6. 最初と最後の頁 880 ~ 885
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00595-014-0978-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto T, Matsuda D, Honma K, Aoyagi Y, Okadome J, Morisaki K, Tanaka S, Saeki H, Oki E, Maehara Y	4. 巻 35(12)
2. 論文標題 One-stage Procedure for Concomitant Abdominal Aortic Aneurysm and Gastric Cancer.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 6909-12.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akahoshi T., Sugimori H., Kaku N., Tokuda K., Nagata T., Noda E., Morita M., Hashizume M., Maehara Y.	4. 巻 41
2. 論文標題 Comparison of recombinant human thrombomodulin and gabexate mesylate for treatment of disseminated intravascular coagulation (DIC) with sepsis following emergent gastrointestinal surgery: a retrospective study	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 European Journal of Trauma and Emergency Surgery	6. 最初と最後の頁 531 ~ 538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00068-014-0478-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda Mitsuhiro, Saeki Hiroshi, Nakashima Yuichiro, Yukaya Takafumi, Tsutsumi Satoshi, Tajiri Hirotada, Zaito Yoko, Tsuda Yasuo, Kasagi Yuta, Ando Koji, Imamura Yu, Ohgaki Kippei, Akahoshi Tomohiko, Oki Eiji, Maehara Yoshihiko	4. 巻 62
2. 論文標題 Treatment results of two-stage operation for the patients with esophageal cancer concomitant with liver dysfunction	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Journal of Medical Investigation	6. 最初と最後の頁 149 ~ 153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2152/jmi.62.149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda Mitsuhiro, Ikegami Toru, Imai Daisuke, Wang Huanlin, Bekki Yuki, Itoh Shinji, Yoshizumi Tomoharu, Soejima Yuji, Shirabe Ken, Maehara Yoshihiko	4. 巻 62
2. 論文標題 The changes in treatment strategies in ABOi living donor liver transplantation for acute liver failure	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Journal of Medical Investigation	6. 最初と最後の頁 184 ~ 187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2152/jmi.62.184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Harimoto Norifumi, Shirabe Ken, Ikegami Toru, Yoshizumi Tomoharu, Maeda Takashi, Kajiyama Kiyoshi, Yamanaka Takeharu, Maehara Yoshihiko	4. 巻 199
2. 論文標題 Postoperative complications are predictive of poor prognosis in hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Surgical Research	6. 最初と最後の頁 470 ~ 477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jss.2015.06.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harimoto N, Ikeda T, Takeishi K, Itoh S, Yamashita Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Kawanaka H, Shirabe K, Maehara Y	4. 巻 35(7)
2. 論文標題 Outcomes After Laparoscopic Hepatectomy in the Semi-prone Position for Hepatocellular Carcinoma Located in Segment 6, 7, or 8.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anticancer Research	6. 最初と最後の頁 4167-70.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harimoto N, Wang H, Ikegami T, Takeishi K, Itoh S, Yamashita Y-I, Yoshizumi T, Aishima S, Shirabe K, Oda Y, Maehara Y	4. 巻 30
2. 論文標題 Hepatology: Rare Stevens-Johnson syndrome and vanishing bile duct syndrome induced by acetaminophen, requiring liver transplantation	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 656 ~ 656
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.12849	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harimoto N., Yoshida Y., Kurihara T., Takeishi K., Itoh S., Harada N., Tsujita E., Yamashita Y.-I., Uchiyama H., Soejima Y., Ikegami T., Yoshizumi T., Kawanaka H., Ikeda T., Shirabe K., Saeki H., Oki E., Kimura Y., Maehara Y.	4. 巻 47
2. 論文標題 Prognostic Impact of Des- -carboxyl Prothrombin in Living-Donor Liver Transplantation for Recurrent Hepatocellular Carcinoma	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 703 ~ 704
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2014.09.178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計107件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 18件）

1. 発表者名 池田哲夫、工藤健介、木村光一
2. 発表標題 メタボリック手術前後の腸内細菌叢解析と術後腸内細菌健全化食の有用性の検討
3. 学会等名 第74回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野尚美、原田結、佐伯浩司、沖英次、米満吉和、前原喜彦
2. 発表標題 Characterization of drug resistant cancer stem-like cells and elucidation of the maintenance mechanisms
3. 学会等名 日本消化器がん発生学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshzumi T., Ikegami T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Okabe H., Kimura K., Harada N., Motomura T., Soejima Y., Ikeda T., Maehara Y.
2. 発表標題 Chronic kidney disease after living donor liver transplantation: Impact of mycophenolate mofetil monotherapy,
3. 学会等名 Transplant Science Sympojum 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshizumi T., Ikegami T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Okabe H., Kimura K., Ikeda T., Shirabe K., Maehara Y.
2. 発表標題 Living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma within Milan criteria
3. 学会等名 Transplant Science Sympojum 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田 哲夫、小野木真哉、荒田 順平、木村 光一、伊藤 心二、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、吉住 朋晴、調 憲、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 腹腔鏡下肝切除を安全性向上のために成し遂げてきた事、そして今後成すべき創意と工夫
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 内山 秀昭、調 憲、吉住 朋晴、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、木村 光一、岡部 弘尚、前原 喜彦
2. 発表標題 レシピエント内頸静脈グラフトを用いた中肝静脈なし右葉グラフト肝静脈再建法
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Harimoto N., Itoh S., Harada N., Uchiyama H., Yoshizumi T., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 Left lobe LDLT is a choice in adult-to-adult LDLT
3. 学会等名 ILTS 22nd annual international congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Harimoto N., Itoh S., Harada N., Uchiyama H., Yoshizumi T., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 Small LL-LDLT: What is the lower limit?
3. 学会等名 ILTS 22nd annual international congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Yoshizumi T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 How to Divide Bile Duct in LDLT Donor
3. 学会等名 ILTS 22nd annual international congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Soejima Y., Yoshizumi T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Maehara Y.
2. 発表標題 Principles of bile duct anastomosis in LDLT
3. 学会等名 1st LDLT surgical skill workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、溝上 雅史、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植後B型肝炎ワクチンの効果とHLA-DPに関する検討
3. 学会等名 第52回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植後C型肝炎再発に対するDAAを用いた治療に於ける効果と問題点
3. 学会等名 第52回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、山下 洋市、播本 憲史、伊藤 心二、木村 光一、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 小開腹による安全・低侵襲な生体肝移植肝葉グラフト採取術
3. 学会等名 第70回手術手技研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田 哲夫、木村 光一、伊藤 心二、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、吉住 朋晴、小野木真哉、前原 喜彦、橋爪 誠
2. 発表標題 Laparoscopic surgery : Patients protection from laparoscopic major hepato-pancreatic surgery
3. 学会等名 第28回日本肝胆膵学会・学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、高田 泰次、調 憲、池上 徹、内山 秀昭、池田 哲夫、上本 伸二、武富 紹信、前原 喜彦
2. 発表標題 Impact of human T-cell leukemia virus type 1 on living donor liver transplantation: a multi-center study in Japan
3. 学会等名 第28回日本肝胆膵学会・学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Yoshizumi T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Okabe H., Kimura K., Yamashita YI., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 Management and outcomes of portal vein thrombosis in living donor liver transplantation
3. 学会等名 第28回日本肝胆膵学会・学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Harimoto N., Kimura K., Okabe H., Harada N., Ikegami T., Uchiyama H., Ikeda T., Maehara Y
2. 発表標題 Surgical treatment of hepatocellular carcinoma with macroscopic portal venous tumor thrombus
3. 学会等名 第28回日本肝胆膵学会・学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Harimoto N., Kimura K., Okabe H., Harada N., Ikegami T., Uchiyama H., Ikeda T., Maehara Y
2. 発表標題 Surgical treatment of hepatocellular carcinoma with macroscopic portal venous tumor thrombus
3. 学会等名 第28回日本肝胆膵学会・学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda T., Nakata R., Obata S., Nomura M., Sonoda N., Nakayama R., Morita C., Yamaguchi S., Maehara Y., Hashizume M.
2. 発表標題 LAPAROSCOPIC LONG SLEEVE GASTRECTOMY MANIPULATE STOMACH LIKE A MARIONETTE
3. 学会等名 24th International congress of the EAES (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda T., Yamashita Y., Harimoto N., Takeishi K., Ito S., Ikegami T., Yoshizumi T., Akahoshi T., Shirabe K., Maehara Y., Hashizume M.
2. 発表標題 PURE LAPAROSCOPIC IN SEMIPRONE POSITION USING A DUAL HANDLING TECHNIQUE WITH A INTERCOSTAL PORT.
3. 学会等名 24th International congress of the EAES (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、内山 秀昭、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、原田 昇、本村 貴志、長津 明久、王 歆林、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 安全・確実な生体肝移植の施行を目指した我々の手術手技
3. 学会等名 第41回日本外科系連合学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、原田 昇、本村 貴志、別城 悠樹、王 歆林、吉田 佳弘、下川 雅弘、坂田 一仁、島垣 智成、内山 秀昭、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 ミラノ基準内肝癌に対する生体肝移植の成績
3. 学会等名 第107回日本消化器病学会九州支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤 心二、吉住 朋晴、池田 哲夫、下川 雅弘、坂田 一仁、島垣 智成、富野 高広、吉田 佳弘、別城 悠樹、王 歆林、木村 光一、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、内山 秀昭、前原 喜彦
2. 発表標題 肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の進歩と肝頭側領域への適応拡大
3. 学会等名 第107回日本消化器病学会九州支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、内山 秀昭、池上 徹、播本 憲史、原田 昇、伊藤 心二、本村 貴志、王 歆林、長津 明久、吉田 佳弘、坂田 一仁、下川 雅弘、島垣 智成、川崎 淳司、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 脳死下臓器移植推進に向けた我々の取り組み
3. 学会等名 第34回日本肝移植研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、播本 憲史、原田 昇、伊藤 心二、本村 貴志、長津 明久、王 歓林、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 小開腹下生体肝移植肝葉グラフト採取術のポイントとその習熟過程に関する検討
3. 学会等名 第34回日本肝移植研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Yoshizumi T., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 The strategies to have long-term survivals after living donor liver transplantation in adults
3. 学会等名 第34回日本肝移植研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝ドナーの選択と評価方法に関して
3. 学会等名 第34回日本肝移植研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤 心二、吉住 朋晴、池上 徹、副島 雄二、播本 憲史、原田 昇、本村 貴志、長津 明久、王 歓林、前原 喜彦
2. 発表標題 肝移植におけるPearls and Pitfalls (私にしかできない手術、経験したくない合併症) 生体肝移植レシピエントにおける新しい肝門部処理 ~New hilar dissection~
3. 学会等名 第34回日本肝移植研究会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 池田 哲夫、木村 光一、伊藤 心二、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、吉住 朋晴、小野木真哉、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 腹腔鏡下肝切除術の安全性向上と適応拡大への創意工夫とミクロ立体再構築法による外科解剖の再発見
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、播本 憲史、伊藤 心二、池上 徹、内山 秀昭、原田 昇、副島 雄二、川中 博文、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 地方中核都市における我々のリクルート戦略
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 内山 秀昭、吉住 朋晴、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、岡部 弘尚、木村 光一、前原 喜彦
2. 発表標題 Living-donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: validation of our selection criteria
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Yoshizumi T., Uchiyama H., Harimoto N., Itoh S., Okabe H., Harada N., Yamashita YI., Soejima Y., Mehara Y.
2. 発表標題 Liver re-transplantation for graft failure: What are optimal selection criteria?
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Harimoto N., Kimura K., Okabe H., Harada N., Ikegami T., Uchiyama H., Ikeda T., Maehara Y
2. 発表標題 Multidisciplinary treatment of advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombus
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Harimoto N., Kimura K., Okabe H., Harada N., Ikegami T., Uchiyama H., Ikeda T., Maehara Y
2. 発表標題 Multidisciplinary treatment of advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombus
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshizumi T., Ikegami T., Soejima Y., Maehara Y.
2. 発表標題 Optimizing Outcomes of Living Donor Liver Transplantation: Kyushu University Experience.
3. 学会等名 26th International Congress of Transplantation Society
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉住 朋晴、池上 徹、原田 昇、播本 憲史、伊藤 心二、本村 貴志、長津 明久、王 歆林、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 体肝移植術中脾臓摘出術の術後成績に及ぼす影響に関する検討
3. 学会等名 第23回日本門亢症学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 肝疾患に対する肝移植の適応と成績
3. 学会等名 第24回沖繩肝不全研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikegami T., Yoshizumi T, Soejima Y, Harada N, Harimoto N, Itoh S, Nagatsu A, Motomura T, Maehara Y.
2. 発表標題 Living Related Transplant: State of the Field
3. 学会等名 American Collage of Surgeons Clinical Congress 2016（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Nagatsu A., Motomura T., Harada N., Harimoto N., Ikegami T., Soejima Y., Ikeda T., Kamishima T., Maehara Y
2. 発表標題 Recent advances in perioperative management Relationship between skeletal muscle mass assessed by computed tomography and muscle strength in patients with liver disease.
3. 学会等名 40th World Congress of the International College of Surgeons（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itoh S., Yoshizumi T., Nagatsu A., Motomura T., Harada N., Harimoto N., Ikegami T., Soejima Y., Ikeda T., Kamishima T., Maehara Y
2. 発表標題 Relationship between skeletal muscle mass assessed by computed tomography and muscle strength in patients with liver disease.
3. 学会等名 40th World Congress of the International College of Surgeons（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshzumi T., Ikegami T., Harada N., Harimoto N., Itoh S., Motomura T., Nagatsu A., Soejima Y., Maehara Y
2. 発表標題 Graft selection strategy in living donor liver transplantation.
3. 学会等名 Asian Transplantation Week 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤 心二、吉住 朋晴、池田 哲夫、川崎 淳司、島垣 智成、坂田 一仁、下川 雅弘、吉田 佳弘、長津 明久、本村 貴志、原田 昇、播本 憲史、池上 徹、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 左半腹臥位を用いた肝右葉前上、後区域領域における腹腔鏡下肝切除術
3. 学会等名 第10回肝臓内視鏡外科研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田 哲夫、木村 光一、伊藤 心二、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、吉住 朋晴、調 憲、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 組織標本立体再構築とコンピュータ画像解析による肝門部ミクロ立体解剖の解明
3. 学会等名 第78回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 播本 憲史、吉住 朋晴、島垣 智成、坂田 一仁、下川 雅弘、吉田 佳弘、王 歆林、長津 明久、本村 貴志、伊藤 心二、原田 昇、池上 徹、副島 雄二、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 サルコペニアは肝硬変合併肝細胞癌における術後合併症のリスク因子である
3. 学会等名 第78回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊藤 心二、吉住 朋晴、副島 雄二、池上 徹、播本 憲史、原田 昇、本村 貴志、王 歆林、長津 明久、吉田 佳弘、下川 雅弘、坂田 一仁、島垣 智成、川崎 淳司、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 門脈内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する外科治療を中心とした治療戦略
3. 学会等名 第78回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住 朋晴、原田 昇、播本 憲史、伊藤 心二、長津 明久、本村 貴志、副島 雄二、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植後C型肝炎再発に対するDAAを用いた治療
3. 学会等名 第108回日本消化器病学会九州支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田 哲夫、木村 光一、伊藤 心二、岡部 弘尚、播本 憲史、池上 徹、吉住 朋晴、小野木真哉、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 腹腔鏡下肝切除術において、出血しない、させない、ひろげないための工夫
3. 学会等名 第29回日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上 徹、吉住朋晴、副島雄二、前原喜彦
2. 発表標題 肝移植の適応・成績・ピットフォール
3. 学会等名 肝移植連携セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 播本 憲史、吉住 朋晴、島垣 智成、下川 雅弘、坂田 一仁、吉田 佳弘、王 歆林、長津 明久、本村 貴志、伊藤 心二、原田 昇、池上 徹、副島 雄二、池田哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 Propensity score解析を用いた肝細胞癌に対する開腹肝切除と腹腔鏡下肝切除の比較検討
3. 学会等名 第29回日本内視鏡外科学会 総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沖 英次、西村 章、堤 亮介、中司 悠、工藤 健介、堤 智崇、由茅 隆文、中西 良太、杉山 雅彦、中島雄一郎、大垣 吉平、園田 英人、佐伯 浩司、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 直腸前方切除術における縫合不全を減少させる工夫とサーキュラーステープラーを用いた側々吻合法
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沖 英次、笠木 勇太、中島雄一郎、杉山 雅彦、大垣 吉平、園田 英人、佐伯 浩司、緒方 裕、江見 泰徳、別府 透、赤木 由人、馬場 秀夫、前原 喜彦
2. 発表標題 新しい外科学の価値の創造；化学療法と外科 切除不能大腸癌肝転移の最適な治療選択
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、枝廣圭太郎、是久翔太郎、谷口 大介、工藤 健介、堤 亮介、中司 悠、西村 章、秋山 真吾、田尻 裕匡、堤 智崇、由茅 隆文、笠木 勇太、杉山 雅彦、大垣 吉平、園田 英人、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 T3/nearly T4食道癌に対する術前サルコペニアの評価と術前化学放射線療法の意義 - サルコペニアは術後合併症、予後に関与するか？
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、由茅 隆文、堤 智崇、中西 良太、杉山 雅彦、大垣 吉平、園田 英人、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道再建術における再建臓器の動脈血流・静脈還流の定量化と吻合部被覆大網血流の評価
3. 学会等名 第70回手術手技研究会第70回手術手技研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、沖 英次、掛地 吉弘、馬場 秀夫、前原 喜彦
2. 発表標題 胃がん治療における外科と腫瘍内科のコラボレーション - 九州消化器癌化学療法研究会 (KSCC) での取り組み
3. 学会等名 第20回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、由茅 隆文、堤 智崇、中西 良太、杉山 雅彦、大垣 吉平、園田 英人、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 縫合不全ゼロを目指した食道再建術 - ICG蛍光法による再建臓器血流の定量化と臨床応用
3. 学会等名 第71回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沖 英次、岡野 慎士、中島雄一郎、杉山 雅彦、佐伯 浩司、前原 喜彦
2. 発表標題 マウスモデルを用いた化学療法と免疫チェックポイント阻害剤併用の基礎検討
3. 学会等名 第27回消化器癌発生学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、堤 智崇、伊藤 修平、枝廣圭太郎、是久翔太郎、谷口 大介、堤 亮介、西村 章、中司 悠、工藤 健介、秋山 真吾、田尻 裕匡、中西 良太、藏重 淳二、杉山 雅彦、中島雄一郎、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道扁平上皮癌の進展におけるPD-L1発現の意義 - 腫瘍免疫回避機構と上皮間葉移行との相互作用
3. 学会等名 第27回消化器癌発生学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、枝廣圭太郎、是久翔太郎、谷口 大介、工藤 健介、堤 亮介、中司 悠、西村 章、田尻 裕匡、中西 良太、藏重 淳二、杉山 雅彦、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 局所進行食道癌に対する集学的治療の最適化におけるサルコペニアの意義
3. 学会等名 第69回日本胸部外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐伯 浩司、堤 智崇、伊藤 修平、堤 亮介、西村 章、中司 悠、工藤 健介、秋山 真吾、田尻 裕匡、中西 良太、藏重 淳二、杉山 雅彦、中島雄一郎、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道扁平上皮癌におけるPD-L1発現様式と臨床病理学的意義に関する検討
3. 学会等名 第54回日本癌治療学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Okamoto T, Shoji F, Morodomi Y, Toyokawa G, Suzuki Y, Fujishita T, Katsura M, Takada K, Akamine T, Takamori S, Maehara Y.
2. 発表標題 Pulmonary resection and reconstruction after induction chemoradiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer.
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 庄司 文裕、松原 太一、上妻 由佳、原武 直紀、赤嶺 貴紀、高森 信吉、桂 正和、高田 和樹、豊川 剛二、岡本 龍郎、前原 喜彦
2. 発表標題 I期非小細胞肺癌におけるsarcopeniaの意義と免疫栄養・炎症関連指数との関連性の検討
3. 学会等名 第54回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡本 龍郎、竹之山光広、山崎 宏司、永島 明、米谷 卓郎、前原 喜彦
2. 発表標題 第8版TNM病理病期分類の妥当性と臨床への影響
3. 学会等名 第57回日本肺癌学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沖 英次、笠木 勇太、津田 康雄、財津 瑛子、安藤 幸滋、中島雄一郎、今村 裕、大垣 吉平、佐伯 浩司、米満 吉和、前原 喜彦
2. 発表標題 胃癌の腹膜播種メカニズムを考慮した新しい治療法の開発
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 沖 英次、笠木 勇太、中島雄一郎、杉山 雅彦、大垣 吉平、園田 英人、佐伯 浩司、前原 喜彦
2. 発表標題 治療方針決定カンファレンス、いわゆるCancer boardをどのように運営するか
3. 学会等名 第13回日本臨床腫瘍学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Okai E., Emi Y., Saeki H., Tokunaga S., Beppu T., Shirabe K., Takatsuki M., Uchida S., Sakoda M., Eguchi S., Inomata M., Akagi Y., Natsugoe S., Ogata Y., Kakeji Y., Baba H., Iyama K., Maehara Y.
2. 発表標題 Comparison of two central reviews of liver resectability after chemotherapy in patients with initially unresectable colorectal cancer liver metastases: Phase II trials of mFOLF0X6 plus bevacizumab (KSCC0802) and SOX (S-1 and oxaliplatin) plus cetuximab (KSCC1002)
3. 学会等名 ESMO European Society of Medical Oncology (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Okai E., Kasagi Y., Nakashima Y., Sugiyama M., Sonoda H., Ohgaki K., Saeki H., Yonemitsu Y., Miyamoto S., Mekada E., Maehara Y.
2. 発表標題 Novel treatment for peritoneal dissemination of gastric cancer
3. 学会等名 第74回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 沖 英次、岡野 慎士、笠木 勇太、中島雄一郎、杉山 雅彦、大垣 吉平 園田 英人、佐伯 浩司、前原 喜彦
2. 発表標題 大腸癌の微小環境解析に基づく新しい治療戦略
3. 学会等名 第53回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 沖 英次、笠木 勇太、由茅 隆文、堤 智崇、杉山 雅彦、中島雄一郎、大垣 吉平、園田 英人、佐伯 浩司、前原 喜彦
2. 発表標題 胃癌におけるPD-L1の発現とHER2発現の関連性の検討
3. 学会等名 第26回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 再発大腸癌に対する手術療法と薬物療法の治療選択
3. 学会等名 第77回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、堤 智崇、由茅 隆文、田尻 裕匡、中島雄一郎、安藤 幸滋、今村 裕、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 頸部食道癌に対する手術成績と臨床病理学的特徴
3. 学会等名 第69回日本食道学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、財津 瑛子、津田 康雄、笠木 勇太、中島雄一郎、安藤 幸滋、今村 裕、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 cT因子からみたcStageII/III食道扁平上皮癌に対する術前化学放射線療法の意義と 治療効果予測バイオマーカー
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、堤 亮介、工藤 健介、中司 悠、西村 章、秋山 真吾、田尻 裕匡、堤 智崇、由茅 隆文、笠木 勇太、財津 瑛子、津田 康雄、安藤 幸滋、今村 裕、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 局所進行食道癌に対する集学的治療の成績と個別化治療への展開
3. 学会等名 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、堤 智崇、由茅 隆文、田尻 裕匡、堤 亮介、西村 章、中司 悠、工藤 健介、笠木 勇太、杉山 雅彦、園田 英人、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道癌に対する腹臥位鏡視下食道切除術 - 両肺換気・気胸法によるリンパ節郭清の 利点 -
3. 学会等名 第68回日本胸部外科学会定期学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中ノ子智徳、堤 亮介、西村 章、中司 悠、田尻 裕匡、堤 智崇、由茅 隆文、笠木 勇太、杉山 雅彦、中島雄一郎、園田 英人、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道癌に対する術前治療の効果予測バイオマーカーとしてのRad51発現の意義
3. 学会等名 第53回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、秋山 真吾、北尾 洋之、西村 章、工藤 健介、中司 悠、田尻 裕匡、堤 智崇、由茅 隆文、笠木 勇太、杉山 雅彦、中島雄一郎、大垣 吉平、園田 英人、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道扁平上皮癌におけるMTH1発現のバイオマーカーとしての意義
3. 学会等名 第26回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、由茅 隆文、中島雄一郎、工藤 健介、堤 亮介、中司 悠、西村 章、田尻 裕匡、堤 智崇、笠木 勇太、杉山 雅彦、園田 英人、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道再建におけるICG蛍光法による胃管血流定量法の確立と血流評価に基づく 三角吻合・大網被覆法の有用性
3. 学会等名 第77回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯 浩司、中島雄一郎、堤 智崇、由茅 隆文、田尻 裕匡、堤 亮介、西村 章、中司 悠、工藤 健介、笠木 勇太、杉山 雅彦、園田 英人、大垣 吉平、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 食道癌に対する両肺換気・気胸による腹臥位鏡視下食道切除術の治療成績
3. 学会等名 第28回日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Okamoto T, Tagawa T, Shoji F, Morodomi Y, Kohno M, Ito K, Suzuki Y, Fujishita T, Katsura M, Maehara Y.
2. 発表標題 Biological significance of CHK2 gene expression in lung adenocarcinoma
3. 学会等名 16TH WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岡本 龍郎、赤嶺 貴紀、高森 信吉、桂 正和、高田 和樹、鈴木 雄三、藤下 卓才、諸富 洋介、庄司 文裕、前原 喜彦
2. 発表標題 肺腺癌におけるEGFR変異タイプ別の予後とその特徴
3. 学会等名 第56回日本肺癌学会定期学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 内山 秀昭、調 憲、吉住 朋晴、池上 徹、伊藤 心二、播本 憲史、岡部 弘尚、木村 光一、前原 喜彦
2. 発表標題 「生体肝、腎移植ドナーの安全性について：現状と、向上に向けた工夫取り組み」生体肝移植ドナー手術安全性の検討～576例の手術経験から
3. 学会等名 第51回日本移植学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉住 朋晴、調 憲、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、武石 一樹、山下 洋市、木村 光一、松本 佳大、今井 大祐、別城 悠樹、王 歡林、栗原 健、吉田 佳弘、池田 哲夫、内山 秀昭、川中 博文、前原 喜彦
2. 発表標題 Optimizing Outcomes in Living Donor Liver Transplantation
3. 学会等名 第27回日本肝胆膵外科学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉住 朋晴、調 憲、池上 徹、伊藤 心二、播本 憲史、武石 一樹、木村 光一、松本 佳大、今井 大祐、別城 悠樹、栗原 健、吉田 佳弘、山下 洋市、内山 秀昭、川中 博文、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植成績向上に向けた術式の工夫と周術期管理
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉住 朋晴、調 憲、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、岡部 弘尚、木村 光一、今井 大祐、別城 悠樹、王 歡林、吉田 佳弘、坂田 一仁、下川 雅弘、内山 秀昭、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植後腎障害の改善を目指した免疫抑制療法
3. 学会等名 第51回日本移植学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉住 朋晴、調 憲、前原 喜彦
2. 発表標題 生体肝移植施行後1年以降の予後危険因子に関する検討
3. 学会等名 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池上 徹、調 憲、山下 洋市、吉住 朋晴、播本 憲史、伊藤 心二、武石 一樹、川中 博文、前原 喜彦
2. 発表標題 上腹部正中切開による各種生体肝移植グラフト採取の工夫
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikegami T, Uchiyama H, Yoshizumi T, Soejima Y, Shirabe K, Maehara Y
2. 発表標題 Left lobe living donor liver transplantation - Kyushu University Technique -
3. 学会等名 International meeting on living donor liver transplantation (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikegami T, Shirabe K, Yoshizumi T, Soejima Y, Uchiyama H, Yamashita Y, Maehara Y
2. 発表標題 Various Types of Donor Resection in Japan
3. 学会等名 The Liver Week 2015 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikegami T, Ninomiya M, Kayashima H, Yonemura Y, Hiroshige S, Yoshizumi T, Shirabe K, Maehara Y
2. 発表標題 Optimal volumetric assessment of liver volume
3. 学会等名 Living donor liver transplantation study group 2015 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 庄司 文裕、赤嶺 貴紀、高森 信吉、桂 正和、高田 和樹、鈴木 雄三、藤下 卓才、諸富 洋介、岡本 龍郎、前原 喜彦
2. 発表標題 病理病期I期非小細胞肺癌における術前prognostic nutritional indexの意義
3. 学会等名 第68回日本胸部外科学会定期学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 庄司 文裕、赤嶺 貴紀、高森 信吉、桂 正和、高田 和樹、鈴木 雄三、藤下 卓才、諸富 洋介、岡本 龍郎、前原 喜彦
2. 発表標題 病理病期I期非小細胞肺癌術後再発における術前prognostic nutritional indexの意義
3. 学会等名 第56回日本肺癌学会定期学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田 哲夫、山下 洋市、播本 憲史、武石 一樹、伊藤 心二、池上 徹、吉住 朋晴、赤星朋比古、調 憲、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 腹腔鏡下切除におけるトラブルシューティング
3. 学会等名 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田 哲夫、播本 憲史、山下 洋市、武石 一樹、伊藤 心二、赤星朋比古、池上 徹、吉住 朋晴、調 憲、橋爪 誠、前原 喜彦
2. 発表標題 肝切後にマイクロサージェリーの技法を導入するAutoirrigation BipolarとEndo Quick Suture有用性の検討
3. 学会等名 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会
4. 発表年 2015年



1. 発表者名 池田 哲夫、山下 洋市、播本 憲史、武石 一樹、伊藤 心二、池上 徹、吉住 朋晴、赤星朋比古、調 憲、前原 喜彦
2. 発表標題 腹腔鏡下肝切除術の安全性向上と適応拡大への工夫
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田 哲夫、播本 憲史、伊藤 心二、岡部 弘尚、池上 徹、吉住 朋晴、内山 秀昭、調 憲、前原 喜彦
2. 発表標題 3つの新開発 腹腔鏡下止血器具の腹腔鏡下肝切除における有用性の検討
3. 学会等名 第28回日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松本 拓也、吉屋 圭史、吉賀 亮輔、青柳 幸彦、松田 大介、松原 裕、井上健太郎、中野 覚、江頭 健輔、米満 吉和、前原 喜彦
2. 発表標題 末梢動脈疾患に対する革新的な血管新生療法の開発の現況と展望
3. 学会等名 第56回日本脈管学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松本 拓也、古山 正、吉屋 圭史、吉賀 亮輔、青柳 幸彦、松田 大介、松原 裕、井上健太郎、前原 喜彦
2. 発表標題 大動脈腸骨大腿動脈領域における外科的血行再建術
3. 学会等名 第56回日本脈管学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 赤星朋比古、池田哲夫、富川盛雅、橋爪 誠
2. 発表標題 病的肥満症に対する減量手術のメタボリックサージェリーとしての効果
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 赤星 朋比古、安田光宏、永田高志、徳田賢太郎、 賀来典之、生野雄二、 粉井健太、久保田健介 牧 盾、由茅隆文、吉住朋晴、前原喜彦
2. 発表標題 高エネルギー外傷患者におけるサルコペニアの意義についての検討
3. 学会等名 第43回日本救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 播本 憲史、調 憲、武石 一樹、伊藤 心二、 山下 洋市、池上 徹、吉住 朋晴、川中 博文、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 肝予備能不良症例に対する腹腔鏡下肝切除の適応と成績 「肝硬変合併肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の意義」
3. 学会等名 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 播本 憲史、調 憲、武石 一樹、伊藤 心二、 山下 洋市、池上 徹、吉住 朋晴、川中 博文、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 高齢者肝細胞癌におけるサルコペニアの意義
3. 学会等名 第70回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 播本 憲史、調 憲、武石 一樹、伊藤 心二、栗原 健、吉田 佳弘、今井 大祐、別城 悠樹、王 歆林、木村 光一、中川原 英和、松本 佳大、山下 洋市、池上 徹、吉住 朋晴、川中 博文、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 肝移植におけるサルコペニアの問題点
3. 学会等名 第23回日本消化器関連学会週間 (JDDW)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 播本 憲史、調 憲、木村 光一、岡部 弘尚、伊藤 心二、池上 徹、内山 秀昭、吉住 朋晴、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 70歳以上肝細胞癌患者におけるサルコペニアの意義
3. 学会等名 第26回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 播本 憲史、調 憲、木村 光一、岡部 弘尚、伊藤 心二、池上 徹、吉住 朋晴、池田 哲夫、前原 喜彦
2. 発表標題 肝硬変合併肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の意義
3. 学会等名 第28回日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 北尾 洋之、松岡 和明、新美晋一郎、飯森 真人、渡邊すぎ子、木庭 守、佐伯 浩司、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 新規経口ヌクレオシド系抗悪性腫瘍剤TAS-102の抗がん作用機序解析
3. 学会等名 第19回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kitao H., Matsuoka K., Iimori M., Niimi S., Watanabe S.Kiniwa M., Maehara Y.
2. 発表標題 Cellular response to a fluorinated thymidine analogue trifluridine, a key component of the novel oral antitumor drug TAS-102
3. 学会等名 Gordon Research Conference (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 北尾 洋之、松岡 和明、飯森 真人、新美晋一郎、渡邊すぎ子、佐伯 浩司、沖 英次、前原 喜彦
2. 発表標題 トリフルリジンはDNAに取り込まれ、p53依存的なG2期停止を引き起こす
3. 学会等名 第74回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kitao H., Kiyonari S., Iimori M., Matsuoka K., Morikawa-Ichinose T., Miura D., Niimi S., Saeki H., Oki E., Maehara Y.
2. 発表標題 The 1,2-diaminocyclohexane carrier ligand in oxaliplatin induces p53-dependent transcriptional repression of factors involved in thymidylate biosynthesis.
3. 学会等名 AACR-NCI-EORTC: International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics (国際学会)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 播本 憲史、前原 喜彦、池田 哲夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 139
3. 書名 腹腔鏡下消化器外科手術標準手技シリーズ4 肝臓・脾臓	

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 規則的に配置された同一サイズのスフェロイド群及びその利用	発明者 原田 結、諸富洋介、寺石紘司、米満吉和	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2016-037519	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	播本 憲史  (Harimoto Norifumi)  (00419582)	群馬大学・医学部附属病院・講師   (12301)	
研究分担者	古山 正  (Furuyama Tadashi)  (00419590)	九州大学・大学院・助教   (17102)	
研究分担者	原田 結  (Harada Yui)  (00608507)	九州大学・薬学研究院・助教   (17102)	
研究分担者	間野 洋平  (Mano Yohei)  (10792244)	独立行政法人国立病院機構（九州がんセンター臨床研究センター）・その他部局等・肝胆膵外科医師   (87102)	
研究分担者	馬場 秀夫  (Baba Hideo)  (20240905)	熊本大学・大学院生命科学研究部（医）・教授   (17401)	
研究分担者	赤星 朋比古  (Akahoshi Tomohiko)  (20336019)	九州大学・医学研究院・准教授   (17102)	
研究分担者	松本 拓也  (Matsumoto Takuya)  (20374168)	国際医療福祉大学・医学部・主任教授   (32206)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	飯森 真人 (Iimori Makoto) (20546460)	九州大学・薬学研究院・准教授  (17102)	
研究分担者	安藤 幸滋 (Ando Kouji) (20608864)	九州大学・大学病院・助教  (17102)	
研究分担者	副島 雄二 (Soejima Yuji) (30325526)	信州大学・学術研究院医学系・教授  (13601)	
研究分担者	北尾 洋之 (Kitao Hiroyuki) (30368617)	九州大学・薬学研究院・教授  (17102)	
研究分担者	森崎 浩一 (Morisaki Koichi) (30625801)	九州大学・大学病院・助教  (17102)	
研究分担者	豊川 剛二 (Toyokawa Gouji) (30627261)	独立行政法人国立病院機構九州医療センター（臨床研究センター）・その他部局等・呼吸器外科医師  (87105)	
研究分担者	吉野 一郎 (Yoshino Ichiro) (40281547)	千葉大学・大学院医学研究院・教授  (12501)	
研究分担者	米満 吉和 (Yonemitsu Yoshikazu) (40315065)	九州大学・薬学研究院・教授  (17102)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中島 雄一郎 (Nakashima Yuichiro)  (40733564)	九州大学・医学研究院・助教  (17102)	
研究分担者	杉山 雅彦 (Sugiyama Masahiko)  (40751079)	独立行政法人国立病院機構（九州がんセンター臨床研究センター）・その他部局等・消化管外科医師  (87102)	
研究分担者	本村 貴志 (Motomura Takashi)  (50719507)	九州大学・医学研究院・共同研究員  (17102)	
研究分担者	池田 哲夫 (Ikeda Tetsuo)  (60585701)	福岡歯科大学・口腔歯学部・教授  (37114)	
研究分担者	調 憲 (Shirabe Ken)  (70264025)	群馬大学・大学院医学系研究科・教授  (12301)	
研究分担者	相島 慎一 (Aishima Shinichi)  (70346774)	佐賀大学・医学部・教授  (17201)	
研究分担者	武富 紹信 (Taketomi Akinobu)  (70363364)	北海道大学・医学研究院・教授  (10101)	
研究分担者	沖 英次 (Oki Eiji)  (70380392)	九州大学・大学病院・講師  (17102)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内山 秀昭 (Uchiyama Hideaki)  (70380425)	九州大学・医学研究院・共同研究員  (17102)	
研究分担者	掛地 吉弘 (Kakeji Yoshihiro)  (80284488)	神戸大学・医学研究科・教授  (14501)	
研究分担者	佐伯 浩司 (Saeki Hiroshi)  (80325448)	群馬大学・大学院医学系研究科・教授  (12301)	
研究分担者	吉住 朋晴 (Yoshizumi Tomoharu)  (80363373)	九州大学・医学研究院・准教授  (17102)	
研究分担者	原田 昇 (Harada Noboru)  (80419580)	九州大学・大学病院・講師  (17102)	
研究分担者	池上 徹 (Ikegami Toru)  (80432938)	九州大学・大学病院・講師  (17102)	
研究分担者	岡本 龍郎 (Okamoto Tatsuro)  (80568626)	大分大学・医学部・准教授  (17501)	
研究分担者	木村 光一 (Kimura Koichi)  (80755273)	福岡歯科大学・口腔歯学部・臨床教授  (37114)	



## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	伊藤 心二 (Ito Shinji) (90382423)	九州大学・大学病院・助教  (17102)	
研究分担者	田川 哲三 (Tagawa Tetsuzo) (90419557)	九州大学・大学病院・助教  (17102)	
研究分担者	庄司 文裕 (Shouji Fumihiro) (90444851)	独立行政法人国立病院機構九州医療センター（臨床研究センター）・その他部局等・呼吸器外科医師  (87105)	
研究分担者	中西 良太 (Nakanishi Ryota) (90771254)	九州大学・医学研究院・共同研究員  (17102)	
研究分担者	工藤 健介 (Kudo Kensuke) (90801663)	福岡歯科大学・口腔歯学部・臨床教授  (37114)	
研究分担者	岡野 慎士 (Okano Shinji) (10380429)	福岡歯科大学・口腔歯学部・准教授  (37114)	
研究分担者	堤 亮介 (Tsutsumi Ryosuke) (60846541)	福岡歯科大学・口腔歯学部・助教  (37114)	
研究分担者	橋本 直隆 (Hashimoto Naotaka) (30608964)	福岡歯科大学・口腔歯学部・助教  (37114)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山下 奈真 (Yamashita Nami) (60608967)	九州大学・大学病院・助教  (17102)	
研究分担者	久保 信英 (Kubo Nobuhide) (20811748)	九州大学・医学研究院・共同研究員  (17102)	
研究分担者	諸富 洋介 (Morodomi Yosuke) (60645365)	九州大学・医学(系)研究科(研究院)・助教  (17102)	
研究分担者	安田 光宏 (Yasuda Mitsuhiro) (90269043)	九州大学・大学病院・准教授  (17102)	